2018(平成30)年度 事業報告書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

1 事業の成果

1997 年に前身の家族会が発足したなでしこ共同作業所は利用者が減少、高齢化してきましたが、継続して利用されている方が多く、利用者は生活リズムを整え、作業を通して社会参加し、仲間や地域と交流を行ってきました。
65 歳以上の障害者が作業所(地域活動支援センターⅢ型)を継続利用するには、介護保険認定調査で介護保険サービスの対象非該当であることが条件となります。2019 年 3 月 31 日現在、65 歳以上の利用者は 4 名で、作業所を利用することが介護予防にもつながっています。

2016 年、岡山市から指定を受けて運営をしている障害者生活支援センターでは、当事者が直面する親の介護、親亡き後の生活について、地域包括支援センターなど地域の他機関と連携した支援を行いました。また、若い年代については支援学校在学中から学校と支援会議を開催するなど、生徒や家族が地域に出てからの相談窓口となれるよう早期の関係づくりを進めています。

地域交流事業では、天候不順のため二年連続中止となっていた「ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り」を開催することができ、地域住民や高齢者福祉施設利用者、専門学校の学生や子どもたちが交流する姿が見られました。地域の愛唱歌「たけべよいとこ」音頭に合わせた踊りでは過去最大の輪が完成し盛況でした。施設利用者と地域住民が「また来年も会いましょう」と言葉を交わす場面もあり、住民の交流の場として機能していることが再認識できました。
今年度は、初めての試みとして「たけべの事務力アップ講座」を開催しました。地域の方からパソコン操作についての問い合わせが多くあり、小規模パソコン教室として事業化に至ったものです。ただのパソコン教室ではなく、地域活動における事務担当者がスムーズに書類作成をすすめることで地域の多様な活動が円滑に行えるようになることや、新たな挑戦に取り組みやすい環境整備をしていただくことが最終目的です。全 12 回で延べ 19 人が参加し、操作の疑問や躓いている点を解消されました。

前身が発足して約 20 年、法人化して 10 年が経過しました。障害者生活支援センターで朝のラジオ体操をした利用者が商店街を通ってなでしこ共同作業所に向かう途中、住民の方とハイタッチをしている姿をスタッフが目撃しました。なでしこ会が今日まで歩んできた成果が、利用者や地域住民の日常に溶け込んでいると感じています。

2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
1）障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～15:00	なでしこ共同作業所	指導員 5、ボランティア 20、家族会 1	障害当事者、関係者/約 100	5,808
2）障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
実施なし					
3）公の施設の運営・管理に関する受託事業					
障害者生活支援センターこら～れの運営	月～金 9:00～17:00	障害者生活支援センター	職員 5、ボランティア 20	障害当事者、関係者/約 350	16,869
4）障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」の発行	年 2 回	なでしこ共同作業所	職員 1	会員・関係者/約 150	4
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業所	職員 1	約 100	
5）地域交流に関する事業					
夏のふれあいカフェ	8/31	なでしこ共同作・業所	職員 8、ボランティア 9、家族会 7	障害当事者、家族、地域住民/約 100	68
第10回ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り	実行委員会： 8/28, 9/21, 10/9 当日：10/13	建部町公民館 岡山市北区役所建部支所横駐車場	職員 10、実行委員 20、協力団体 30	障害当事者、家族、地域住民 350	
たけべの事務力アップ講座	年 12 回	建部町公民館	職員1名	地域住民 延べ 19	

3 実績報告

1)なでしこ共同作業所の運営

① 利用状況について

		2017 年度	2018 年度
開所日数		240 日	240 日
登録者数		11 人	10 人
利用延べ人数		2,057 人	2,036 人
一日平均利用人数		8.57 人	8.48 人
平均年齢		61 才	62 才
平均工賃	内職賃金	33,718 円	37,180 円
	賞与	25,289 円	18,590 円
	合計	59,007 円	55,770 円

② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	新菱アルミテクノ
ペットボトル回収リサイクル処理作業	環境開発事業協同組合
資源回収団体報奨金収入	岡山市
園芸用木製チップの選別作業	タマタイ産業
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
ブルーベリーの収穫販売	入野農園
手芸品・さをり織りの製作と販売	はっぽね桜祭り 吉田れんげ祭り めだかの学校環境祭り 旭水荘夏祭り 夏のふれあいカフェ 建部マルシェ ふるさと野菜市 里山祭り たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売

③ 作業以外の行事等について

2018 年 8 月 31 日	交流食事会を開催 夏のふれあいカフェを開催
2018 年 7 月 18 日 2018 年 12 月 7 日	こら～れ・なでしこ合同クッキングに参加
2018 年 11 月 17 日 2018 年 11 月 18 日	建部町文化祭 (さをり織り体験ブース)
2019 年 3 月 28 日	こら～れ主催:三者交流会に参加

④ 支援について
- メンタルボランティアさくらの会による支援：延べ 367 人
- なでしこ家族会による支援：延べ 59 人
- NHK歳末たすけあい配分金により、ポップコーン機を再整備した

2）障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

実施なし

3）障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

① 施設の運営・利用状況

内 容	2017 年度	2018 年度
登録者数	13 人	13 人
関わり人数（実）	51 人	49 人
開館日数	244 日	244 日
利用人数（延）	2,782 人	2,698 人
1 日平均利用者数	11.4 人	11.0 人
風呂の利用許可及び利用料の収納	0 人	1 人

② 建物管理について

● 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
多目的トイレ手洗器水栓	使用し難い状態だった	水栓取替え工事を実施
自動火災報知機	摩耗がみられた	部品取替え工事実施

● 避難訓練（12月26日、3月29日）

③ 相談の状況

内容	件数
訪問	351
来所相談	837
同行	31
電話・FAX	437
メール	19
個別支援会議	37
関係機関	356
時間外対応	49

④基礎的事業

利用者活動	延べ参加人数
ボランティア活動（毎月第 2・3 月曜）	15
ミニ交流会（毎月第 4 水曜）	55

お楽しみ会(毎月第 2 火曜)		47
食事作り(毎月第 1・3 金曜日)		81
ミニ作業(チップ選別作業)		30
オープンキッチン(自炊練習)		5
ボードゲーム等		13
カラオケ(毎週月・金曜日)		21
イベント	合同クッキング	16
	忘年会	9
	三者交流会 ※	45

※三者交流会:2019年3月28日(木)旭川河川敷で花見を開催した。

④ ボランティアの養成及び育成・組織育成

内 容	件 数
家族サロン	0
家族会	17
ボランティア団体 ※1、2	25
教育機関との連携	8
サービス向上のための研修・所内会議	28
広報・啓発	30
地域交流に関わる取組	41
協議会・運営会議等	35
吉備中央町関係	9
人材育成	2
他事業所への指導等	0
地域移行への取組	0

※1 こら～れ職員派遣:2018年7月24日(きらめきプラザ)ボランティア検討会参加

※2 さくらの会主催:2019年2月28日(建部町公民館)ボランティア研修会を開催
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 准教授 寺田 整司先生
「精神障害を正しく理解しよう」 参加者35名

4)障害保健福祉に関する啓発事業

① 法人会員数

種 別	2018 年度	2019 年度
正会員	39 人	37 人
賛助会員	66 人	66 人
合計(前年比)	105 人(-18)	103 人(-2 人)

② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
33	平成30年7月5日	総会報告
34	平成30年1月25日	ふふふ祭り報告

③ Facebookによる情報発信
特定非営利活動法人なでしこ会 https://www.facebook.com/npo.nadesiko/
障害者生活支援センター https://www.facebook.com/28korare/

5）地域交流に関する事業

夏のふれあいカフェ

日　　時	2018 年 8 月 31 日（金）
場　　所	なでしこ共同作業所
内　　容	作業所を開放し、製品・カキ氷等の販売 地域の音楽サークルを招いての歌声広場
成　　果	毎年恒例の行事となり、近隣住民約 100 名が作業所を訪れ、歌声広場やカキ氷を楽しんだ。普段は立ち入る機会の少ない事業所を開放することで、地域住民と作業所利用者が交流するきっかけとなっている。

第 10 回ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り

実行委員会	2018 年 8 月 28 日（火）、9 月 21 日（金）、10 月 9 日（火）、11 月 7 日（火） 建部町公民館 会議室
当　　日	2018 年 10 月 13 日（土）10:00～14:00 岡山市北区役所建部支所横駐車場・建部町公民館
協力団体	約 30 団体
参 加 者	約 350 人
内　　容	出店コーナー 参加団体による食べ物、飲み物、手作り作品の販売
	オープニングイベント 建部はっぽね太鼓による演奏 来場者参加型 OKAYAMA!市民体操
	ふふふ音楽広場 建部町公民館講座、地元出身・在住の音楽アーティストによる演奏
	展示コーナー 地域の事業所・団体が活動をPRする掲示物やパンフレット配布
	情報ファイルの設置 地域のイベントチラシ等をファイルにして飲食テーブルに設置
	みんなで踊ろう！たけべよいとこ 建部町の愛唱歌と踊りを継承するため、会場で踊りの輪を作った
	福っ子ポスター展示会 福渡小学校児童の作成したイベントポスターを商店街と会場に展示した

	福当たりビンゴ大会 商工会、ポイントカード会、会場出店者の協力によるビンゴ大会を行った
成　　果	2016、2017 年と天候不順で中止となったため、三年ぶりの開催となった。建部町出身・在住のアーティストによるミニコンサートや、岡山・建部医療福祉専門学校の学生有志による子供向けアトラクションコーナーが新たに加わり、会場に若者の姿が見られ賑わった。また、「みんなで踊ろう！」のコーナーでは過去最多の参加者が輪をつくり、多様な年代の交流ができた。 年に一度のこのイベントで会うことを約束している住民もおり、継続開催してきたことで住民同士の交流の場となってきた。
補　　足	ふふふ祭りについて活動発表 おかやま地域づくりフォーラム 2018 年 6 月 24 日（日） 岡山ふれあいセンター 分科会「まつり」から考える支え合いの地域づくり 主催：岡山市・（公財）岡山市ふれあい公社・（社福）岡山市社会福祉協議会

たけべの事務力アップ講座

開 催 日	2018/4/13, 7/26, 8/9、8/24, 9/7、10/18, 11/19, 12/6, 12/7 2019/1/31, 2/8, 3/8　　全 12 回
時　　間	17:30～19:30 （12/6 のみ 17:30～18:30）
参 加 者	参加人数延べ 19 人（実人数 8 人）（内 4 回は参加者 0 人）
内　　容	Microsoft Word・Excel
目　　的	地域活動が円滑に実施できるよう、縁の下の力もちである事務担当者をサポートする。事務局は「大変で面倒な仕事」と言うイメージで敬遠されがち。その原因は事務局＝パソコン操作で、パソコン操作が苦手な担当者が多いせいではないか。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないと言った課題を解決するためパソコン教室を開催する。
成　　果	当初の狙いであった実際の事務作業の持ち込みは少なく、実践支援よりも基本操作の講義が主になった。少人数講座のため一人一人の進み具合を把握でき、日頃の疑問を一つずつ解消できた。 少人数講座のため広報範囲を狭めたが、参加者がいない回もあったため今後は広く情報が行き渡るように改善したい。

補足事項

ESD・建部町で「フードバンク」を考える会（仮）に参加

日　　時	● 打ち合わせ 9 回 ● あるもん de 食事会 ①2018 年 7 月 21 日（土）建部町公民館西原分館 参加者：20 人 ②2019 年 3 月 23 日（土）福渡地区コミュニティハウス 参加者：22 人 ● 普及啓発活動（建部町文化祭で展示説明） 2018 年 11 月 17 日（土）、18 日（日） 建部町文化センター
目　　的	障害者支援の現場でフードバンクの必要性を感じる場面があり、公民館講

	座「フードバンクを知ろう」から発足し、建部の食を活かすことで地域活性化を目指す同会に参加した。
成　　果	あるもん de 食事会では地域住民に家庭で余っている食材の提供を呼びかけ、畑でとれすぎた野菜や冷凍庫に眠っている猪肉、乾物などの協力が得られた。参加した親子にはワークショップを行うことで食品ロスなどについて考える機会となった。 文化祭での活動報告展示では「フードバンクってなに？」という質問が多く、訪れた参加者に啓発することができた。

たけべ中学生だっぴ実行委員会に参加

日　　時	● 打ち合わせ 8 回 ● たけべ中学生だっぴ（中学2年生対象） 2018 年 11 月 28 日（水） 建部町文化センター 小ホール ● 中学生・高校生だっぴサミット（情報交換会） 2019 年 3 月 16 日（土） きらめきプラザ
目　　的	「だっぴ」とは、NPO法人だっぴが実施する中学生が大学生や大人と交流するキャリア交流プログラム。働き方や生き方などについてテーマに沿って自由に話し合う。 2017 年に第 1 回を開催した建部中学生だっぴで、参加した生徒から「積極的に人と関わりたいと思うようになった」「自分の未来は自分で変えられると思うようになった」といった感想が聞かれ、市街地の中学校と比べて人数が少なく、多様な価値観の人と関わる機会の少ない建部中学校の生徒にとって、体験格差解消につながる有効な打ち手と感じ、地域の大人たちで実行委員会を結成し継続開催を目指すことになった。
成　　果	開催に係る費用について岡山市教育委員会からの補助金が削減され、クラウドファンティングにより資金を募る予定であったが、7 月の西日本豪雨の影響で公開が中止となった。 急遽、草の根運動で地域からの寄付を募り、必要経費を集めることができた。また、「だっぴ」にも建部町地域で活躍する大人に声をかけ、参加してもらうことができた。中学校からは普段学校では見ることのなかった生徒の一面を見ることができたと好評であった。 今後、実行委員会では、NPO法人だっぴから手法を教わり、出来る限りの準備を自分たちで進めることで費用を削減しながら、建部町の力で継続して実施できる「建部町の中学生だっぴ」を目指し、中学生に多様な大人像を培う機会を提供する。
報　告　書	ダウンロードが可能